年間授業計画　新様式例

高等学校 令和8年度　（１学年用）　教科 国語　　科目　言語文化

教　科：　国語　　科　目：　言語文化　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　６組

教科担当者：（１、３、５組：岸原）（２、４、６組：村田）

使用教科書：（ 高等学校　標準言語文化（第一学習社）　　）

教科　言語文化　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることが出来るようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考力や共感力、想像力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の想いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目　言語文化　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯に渡る社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	『書くこと』『読むこと』の各領域において、論理的に考えるカや深く共感したりかに想像したりする力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・古典の文章になれるとともに、現代に通じる話の面白さや日本語の表現の巧みさを知る。 ・説話という文章の種類をふまえて、内容や展開を的確にとらえる。 ・歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。	・児のそら寝 古文を読むために一	○	○		・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。	○	○	○	6
	・古典の文章になれるとともに、現代に通じる話の面白さや日本語の表現の巧みさを知る。 ・説話という文章の種類をふまえて、内容や展開を的確にとらえる。 ・歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。	・宇治拾遺物語 絵仏師良秀	○		○	・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。	○	○	○	6
	・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。	・伊勢物語 東下り		○	○	・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・「歴史の窓」を踏まえて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・主として助動詞について、文語のきまりを理解する。 ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。	○	○	○	6
	・散文に親しみ、「I was born」という言葉がどのようなイメージで捉えられているかを読み取る。 ・散文詩の方法や特徴を把握する。	・詩の楽しみ Ｉ　ｗａｓ　ｂｏｒｎ 吉野　弘	○	○	○	・散文詩と小説の違いについて理解する。 ・散文詩のリズムを意識して音読している。 ・文学作品の基本構造を理解している。 ・自己の経験や発展的な知識を活用して、生まれることの意義について、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		○			2
2学期	・文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える方法を学ぶ。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を理解する方法を学ぶ。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。	・徒然草 高名の木登り		○	○	・随筆作品について、より深まった世界を認識している。 ・作品に特徴的な語法・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・作者のものの見方、感じ方、考え方を理解する。 ・単なる読解ではなく、本文の思想や含意についても考察を巡らせている。 ・作品世界を現代社会の価値観と比較し、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	○	○	○	12
	・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・古典との関連性について理解を深める。	・羅生門 芥川龍之介	○		○	・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・下人の移動と心理の変化を正しく図示できている。 ・作品の成立した背景を踏まえて、内容の解釈を深める。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		○			2
	定期考査			○	○		○			1
3学期	・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・漢詩のきまりを理解する。	・漢文の学習 ・訓読に親しむ[1] [2] [3] ・唐詩の世界	○	○		・漢詩のきまりを理解する。 ・漢詩のきまりを進んで理解し、学習の見通しをもって漢詩を鑑賞しようとしている。	○	○	○	11
	・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 ・本文を音読し漢文訓読のリズムに慣れる。 ・助字の意味に注意しながら、書き下し文を正しく書けるようにする。	・矛盾　韓非子		○	○	・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 ・『論語』が我が国の文化に及ぼした影響について理解し、孔子の理想とするところを粘り強く説明しようとしている。	○	○	○	10 合計 70